

◆ 地域通信 ◆

ななうら丸でクルージング



この企画は、7年前、「宮島航路で使用しているバリアフリー船「みやじま丸」を使って、障がいのある人たちにクルージングを楽しんでいただきたい」というJR西日本宮島フェリー株式会社さんからの申し出から始まり、以後毎年1回行われています。

一昨年、船は2代目の「ななうら丸」に代わりました。ここ3年間の行き先は片道約2時間かかる呉港です。船内ではJR西日本宮島フェリー(株)の方への感謝状の贈呈式、操舵室の見学、制服をお借りしての記念撮影、周りの島の歴史を語る「島ガイド」、FMはつかいちの船内レポートなど企画も盛りだくさんです。参加者は企画を楽しんだり、お弁当を食べたり、のんびり島々を眺めたりとそれぞれの過ごし方でクルージングを満喫します。呉に上陸してからは、大和ミュージアムやてつものくじら館見学、ショッピング、呉グルメの食べ歩きなど、個々で自由に過ごします。メインはクルージングなので、滞在時間は2時間ほどですが、皆さんプチ旅行を楽しみます。

はつかいち福祉ねっと「ななうら丸」実行委員会



佐伯・今昔物語

太平洋戦争の遺物・防空監視哨

戦時中、全国各地に「防空監視哨」という施設が設置されたことをご存知でしょうか。これは、敵機来襲を早期発見(防空)するために設けられたものです。

近代戦争は、航空機の飛躍的な発達により、その様相が一変しました。昭和十二年七月、勃発した日華事変の進展とともに、敵機空襲の公算が極めて大きくなり、同年十月「防空法」が施行され、全国に防空監視哨が設置されていきました。

昭和十六年十二月八日に太平洋戦争突入、同月二十日、防空局は防空強化の要請から「防空監視隊令」を施行し、防空監視哨の整備を強化することとしました。広島県はこの方針に即応し、県庁内に本部を置き、広島と尾道に防空監視隊を設け、その下に合計二十八か所の防空監視哨を整備しました。この防空監視の装備は粗末なもので、レーダーも聴音装置もなく、ただ双眼鏡のみで敵機襲来の監視業務をしました。

当時、この防空監視哨が佐伯地域の玖島にも設置されました。現在も、その遺構が残っています。場所は玖島の中心部(標高三二九メートル位)から少し西よりの標高四二〇メートル位の上ヶ木山の頂上で、監視哨の遺構は円形で外径四メートル、内径三・一メートル、深さ一・八メートル、蓋のない円鍋の形状で、側面はブロック積み、中は空洞になっています。これを作るにあたり、地元の人たちが麓から材料を担いで上がったと言われています。

昭和十九年、玖島の監視哨は廃止され、四和防空監視哨が新設されました。ここも遺構が残っており、場所は佐伯地域の栗栖の向山(四九一メートル位)という山で玖島のものとほぼ同じ大きさの形状です。違うところは、南斜面を利用して、入口に石段を施した開口部があることです。この監視哨は終戦まで常時立哨されたようです。

なお、廿日市市管内では、厳島と吉和にもありましたが、それぞれ地元で調査されていると思いますので、ここでは触れていません。

記事協力 くじま歴史研究会 矢口 信二

お知らせコーナー

廿日市市全市民センター使用料の改定に伴い、令和元年10月1日より、市民活動センターの施設使用料も改定されます。

(新料金表)

	午前 9:00~12:00	午後 12:00~17:00	夜間 17:00~21:30
第一研修室	610	1020	910
第二研修室	300	510	460
第三研修室	200	340	300
和室	170	290	260

※第一研修室のみ、改定されます。

(単位:円)

9月30日までにご予約いただいた場合、10月1日以降の使用料は、改定前の料金で利用可能です。

尚、半額・減免の使用料は、改定されません。
ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。

****お問い合わせ先** 廿日市市市民活動センター**

廿日市市住吉 2-2-16 ☎0829-32-3741 fax0829-32-3742

HPアドレス <http://www.hatnet.jp/>

<https://www.facebook.com/shiminkatsudo.hatsukaichi>

****ネットワーク現在の状況****

(令和元年9月末現在)

登録団体 **152 団体**

一市民活動情報紙一

さくら de ファミリー

廿日市市市民活動センター
令和元年秋号
Vol. 49

参加者募集!

詳細は後日お知らせします。
多くの方々の参加をお待ちしています。

12/7(土)

登録団体交流会

ペタンク大会を開催します

◆日時: 12月7日(土) 9:00~13:30
(交流会含む)

◆場所: 廿日市小学校体育館

◆講師: 廿日市市スポーツ推進委員

◆申し込み: 3名1組、又は1名で申し込み

◆参加費: 800円(弁当、飲物代他)

※大会終了後、市民活動センターで表彰式・交流会を行います。

避難訓練・大掃除を行います

当センターでは、8月と12月に消防避難訓練を行っています。12月の消防避難訓練は13日(金)10:00から行います。

当日は訓練終了後、年に1度の大掃除(1時間程度)を行います。昨年はたくさんの方に参加いただき、掃除後は団体間での交流や情報交換で盛り上がっていました。



昨年の様子

提案型連携事業の報告

今年度選考された3事業のうち、2事業が実施されました。来年度も連携事業募集を行う予定です。よりよい活動展開の一助としてご活用ください。

●わくわくキッズランド2019

日時: 6月23日

主催: NPO法人 おおのの風

連携: いち・に・さん

ゲーム遊びの中で、ワクワク、ドキドキ感を感じながら競争力、協調性、想像力などを養い、友達とのコミュニケーション力なども身につくことが実感できた。

身近なもので遊びの道具を創作することも覚え、親子で夢中になった1日だった。



●標語募集

主催: 青少年育成廿日市市民会議

連携: 廿日市警察署管内少年補導員連絡協議会

学校生活や地域において、優しさ、思いやり、友情を育てようとする、また家族の絆に関するものの標語を募集した。

計7664点の標語が集まり、子ども達の思いやりや優しさを感じとる事ができたのはもちろん、その中で100点近くの気にかかる標語を見つけ、それぞれの学校へ報告できた。

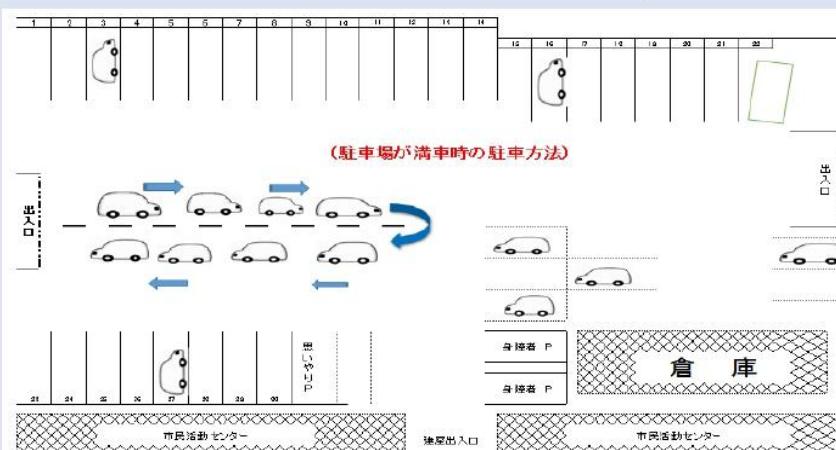


市民活動センター 駐車場利用時のお願い

昨今、当センターにお車で来館される方が大変多くなりました。

つきましては、駐車場枠内満車時の対応として、左図のようなきまりをもうけさせていただきました。

みなさま、お譲り合って駐車いただきますよう、ご理解のほどよろしくお願いいたします。



ネットワーク団体紹介



今回は、大きな大会を終えられた2団体をご紹介します。

廿日市市子ども会育成連絡協議会

第52回広島県子ども会健全育成大会（はつかいち大会）が開催されました！

令和元年6月30日 於：廿日市市中央市民センター

梅雨前線が停滞し、前日の天気予報は、大雨警報が出そうな降雨予想で、会場が市民センターなので避難場所に指定され使えなくなったらという一抹の不安を抱えながら当日を迎えました。

当日は心配するほどの雨もなく、参加者も予定通り、安芸太田、尾道、福山等、広島県各地から104名の参加がありました。

第1分科会

「ジュニアリーダーとのかかわり方から、子ども会について考える」

2つの小グループに分かれジュニアリーダーも加わり、地域の組織として育成者として、子ども会にどのようにかかわり支援をしていけばよいのかを話し合いました。更には、子ども会活動を「子どもたち」だけでなく、地域の人々にとっても楽しくて有意義な会として存続できるか、アイデアを出し合い、話し合いました。



第2分科会

「バルーンアートと小集団レクリエーション」

廿日市市子連のジュニアリーダーを中心に講師の杉原 潔さんとともにバルーンアートの講習会を行い、皆で実際に作ってみました。小さな子供も一緒に参加して、ジュニアリーダーから教えてもらいながら作っていました。また見本で作った作品をもらってうれしそうでした。各地の参加者も熱心に作っていました。



子ども会廿日市宣言

- ・私たちは、子ども会と推進役であるジュニア・リーダーを、全力支援します。
- ・魅力的な子ども会活動を創造し、展開していきます。

2019年6月30日

第52回広島県子ども会健全育成大会参加者一同

おしらせ

VOICE2019 11/3（日）

さくらびあ小ホール 13:00～

広島県西部（廿日市市・大竹市）の小・中学校から選ばれた児童、生徒が発表課題「その時私の心が動いた」について、皆さんの前で熱弁をふるいます。

今年で23回目を迎えますが、大人顔負けの意見と主張で大評判の大会です。

ぜひ一度、聞きにいらしてください。堂々とした主張にビックリされますよ♪

廿日市市PTA連合会

第47回広島県PTA研究大会（はつかいち大会）開催！

令和元年9月15日 於：さくらびあ 大ホール

「今！！ ～語り合おう、関わりあおう～」

9月15日、第47回広島県PTA研究大会は広島県の南西部に位置する廿日市市で開催されました。

廿日市らしくおもてなしをしたいという荻村委員長のもと、中国醸造の鏡開き、廿日市市在住の葡萄亭こざくらさん、葡萄亭ぼてと君の二人落語、記念講演では人工知能研究者黒川 伊保子先生においでいただき、脳科学からの男女の考え方の違いや会話によるトラブル回避、子どもの成長を助けるような励ましなどをお話しいただきました。参加だけでなく、廿日市内の小・中学校のPTA会員のまとまりが感じられる「はつかいち大会」でした。



鏡開きの樽が会場に入りました



黒川伊保子先生

大会宣言

私たちをとりまく激動の時代は、情報通信技術の目覚ましい発展により日々大きく変わっています。

このような環境社会を、「今」過ごす子どもたち。彼らが夢と希望を持ち将来活躍できる人材となるためには、単に知識を注入していくことだけではありません。「今」を過ごす地域の豊かな伝統・文化・資源に触れることが必要であり、さらに地域に暮らす人々と語り合い関わりあうことで、主体的に学び続ける子どもを育てていくことが大切になります。

私たちPTAは、まず教育の原点となる「家庭教育」の重要性を見つめなおし、地域の確かな絆により、ともに学び、ともに成長できるPTA活動に取り組むことを宣言し、次の通り決議します。

記

- ー 家庭・学校・地域が連携し、豊かな心の形成に努めます。
- ー 夢を育む心をもち、その現実に向かえるよう支えあっています。
- ー 命を大切に作る心、優しい心を育むことを心がけます。

夏休み宿題解決工作教室



8月2日、運営協議会とネットワーク登録団体が共催で行いました。定員を超える応募があり、抽選により54名（廿日市小・佐方小・平良小）の子どもたちが参加し、「万華鏡」「ぶんぶん駒」を作って遊び、昼食のカレーを食べて、盛りだくさんの活動となりました。細かい作業が続きましたが、みんな集中して取り組み、予想外の出来あがりに喜んでいました。

ネットワーク登録団体メンバーは、子どもたちのサポートとカレー作りを行い、交流も図れ充実した内容となりました。

